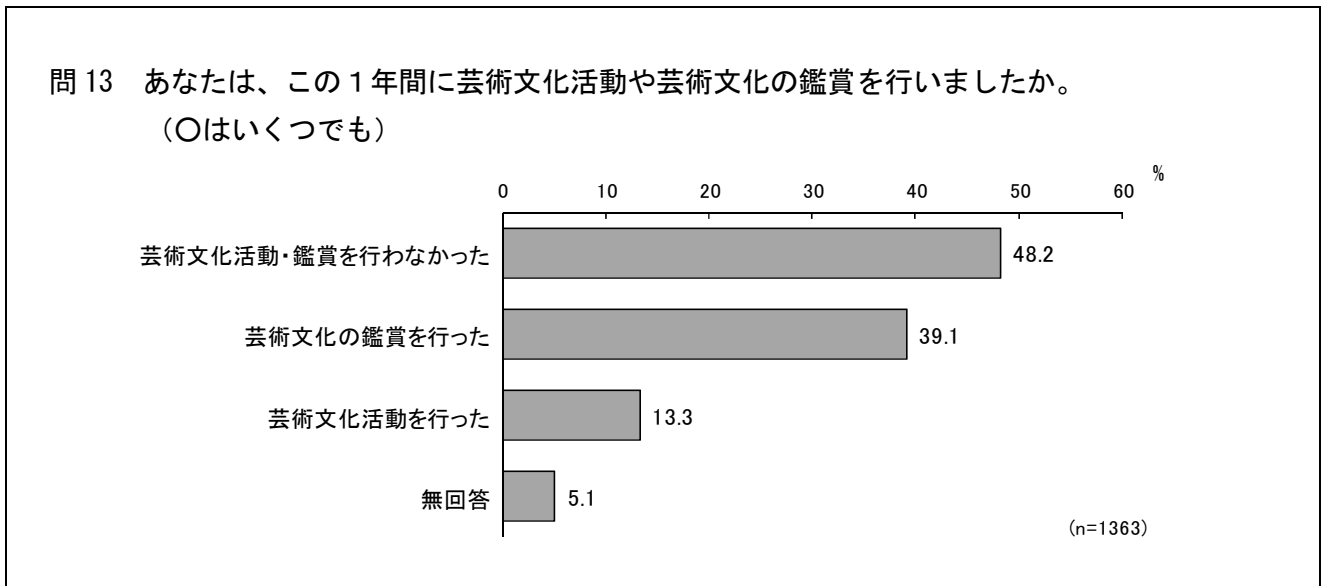


5. 芸術文化活動

(1) 芸術文化活動、芸術文化鑑賞の有無

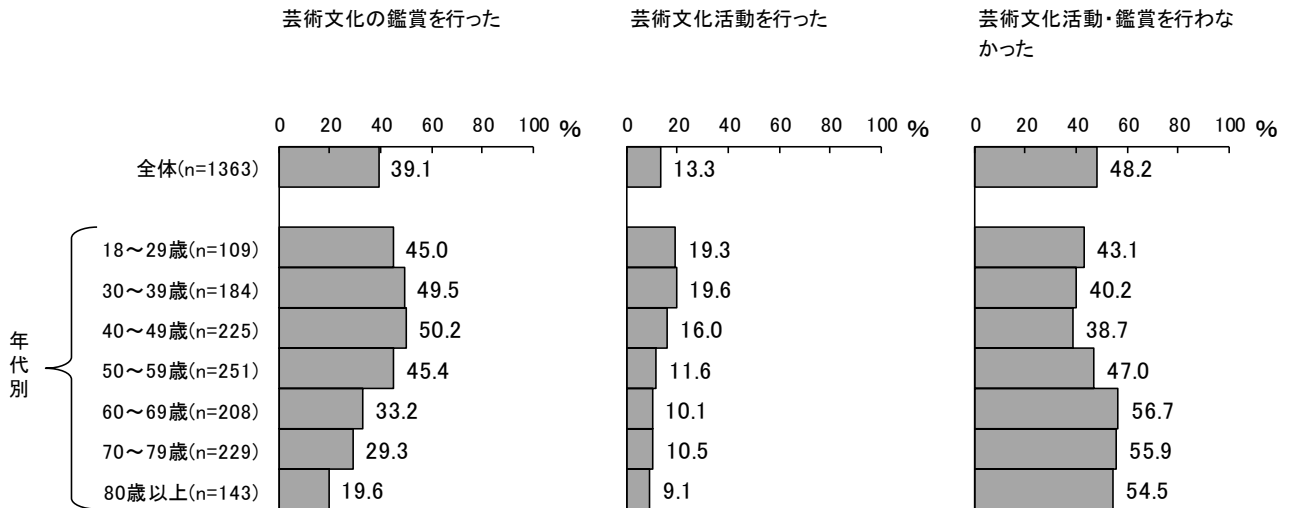
◇「芸術文化活動・鑑賞を行わなかった」が5割近く



芸術文化活動、芸術文化鑑賞の有無について聞いたところ、「芸術文化活動・鑑賞を行わなかった」(48.2%)が5割近くで最も多く、次いで「芸術文化の鑑賞を行った」(39.1%)が4割弱となっている。

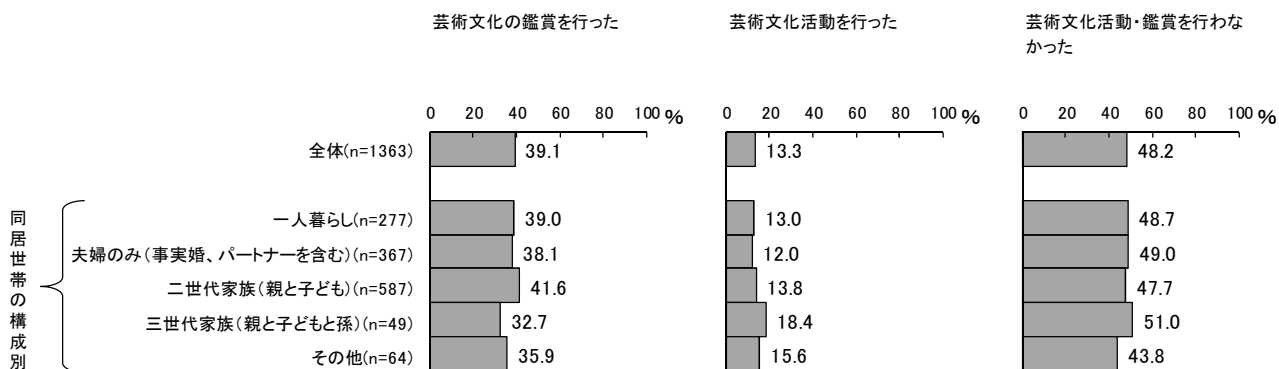
年代別でみると、「芸術文化の鑑賞を行った」は40～49歳（50.2%）が5割で最も高くなっている。「芸術文化活動を行った」は18～39歳がそれぞれ2割弱で高くなっている。「芸術文化活動・鑑賞を行わなかった」は60歳以上で5割台と比較的割合が高くなっている。

芸術文化活動、芸術文化鑑賞の有無 年代別



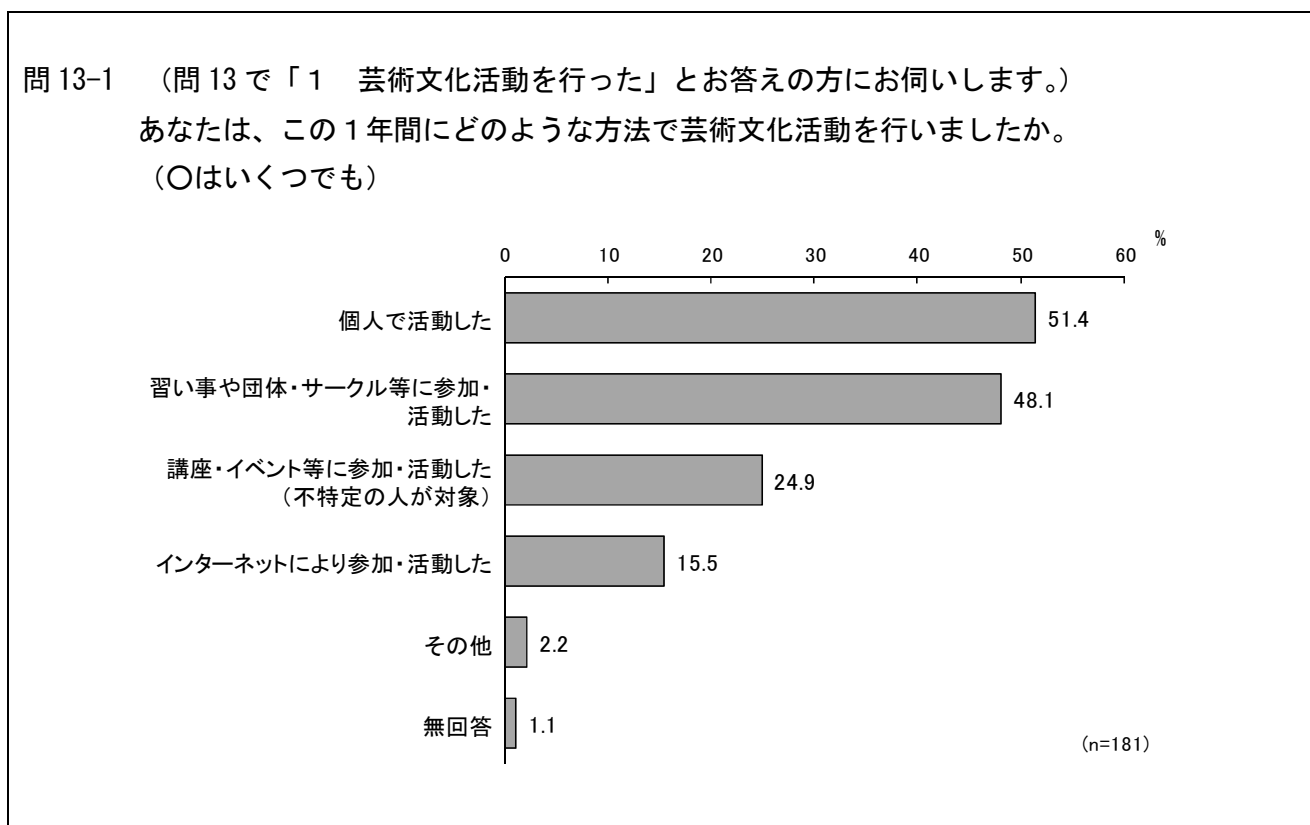
同居世帯の構成別でみると、「芸術文化の鑑賞を行った」は二世世代家族（親と子ども）（41.6%）が4割強、「芸術文化活動を行った」は三世世代家族（親と子どもと孫）（18.4%）が2割近く、「芸術文化活動・鑑賞を行わなかった」は三世世代家族（親と子どもと孫）（51.0%）で5割強と、それぞれ最も高くなっている。

芸術文化活動、芸術文化鑑賞の有無 同居世帯の構成別



(1-1) 芸術文化活動を行った方法

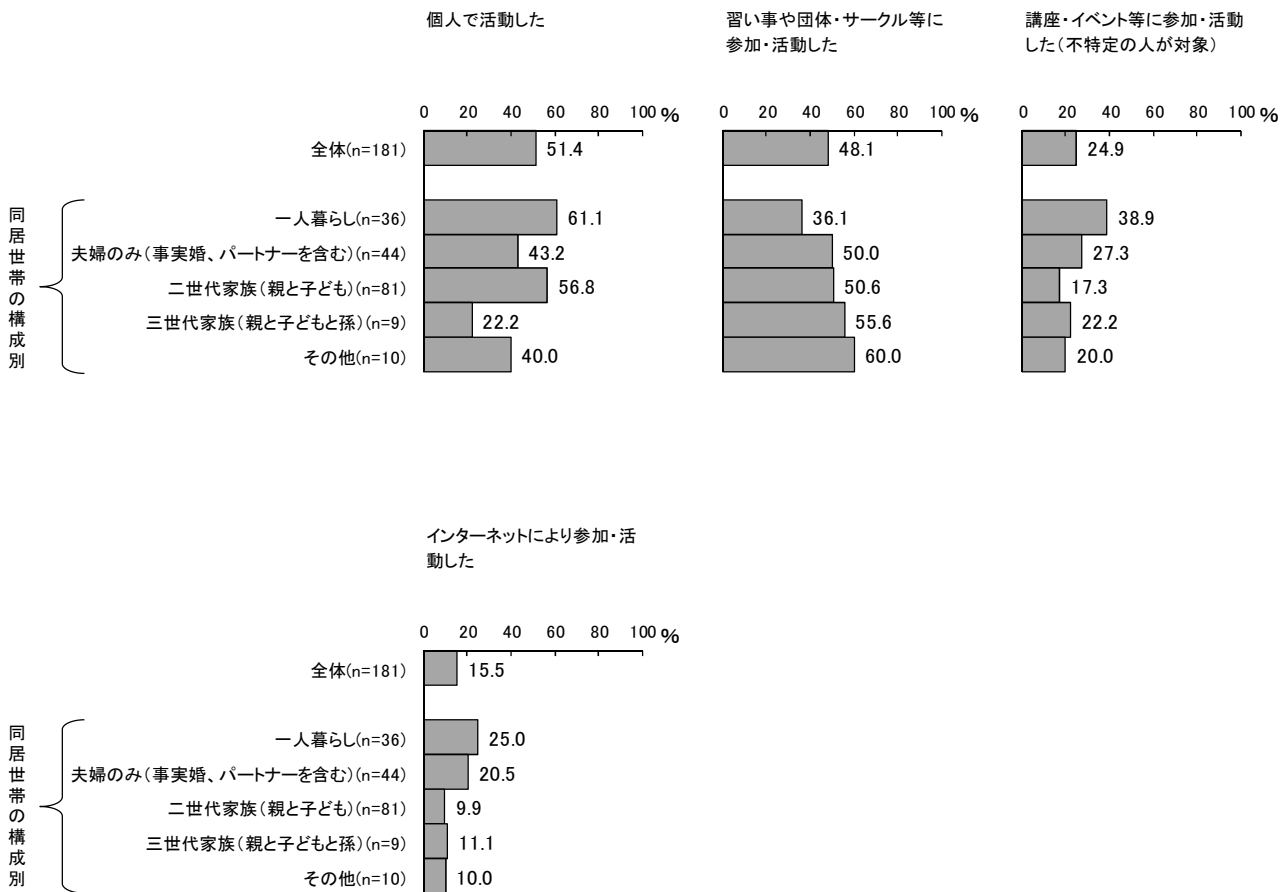
◇「個人で活動した」が5割強



芸術文化活動を行った方法について聞いたところ、「個人で活動した」(51.4%)が5割強で最も高く、次いで「習い事や団体・サークル等に参加・活動した」(48.1%)が5割近くと続いている。

同居世帯の構成別でみると、一人暮らしで「個人で活動した」(61.1%)が6割強、「講座・イベント等に参加・活動した(不特定の人が対象)」(38.9%)が4割近く、「インターネットにより参加・活動した」(25.0%)が2割半ばでそれぞれ最も高くなっている。

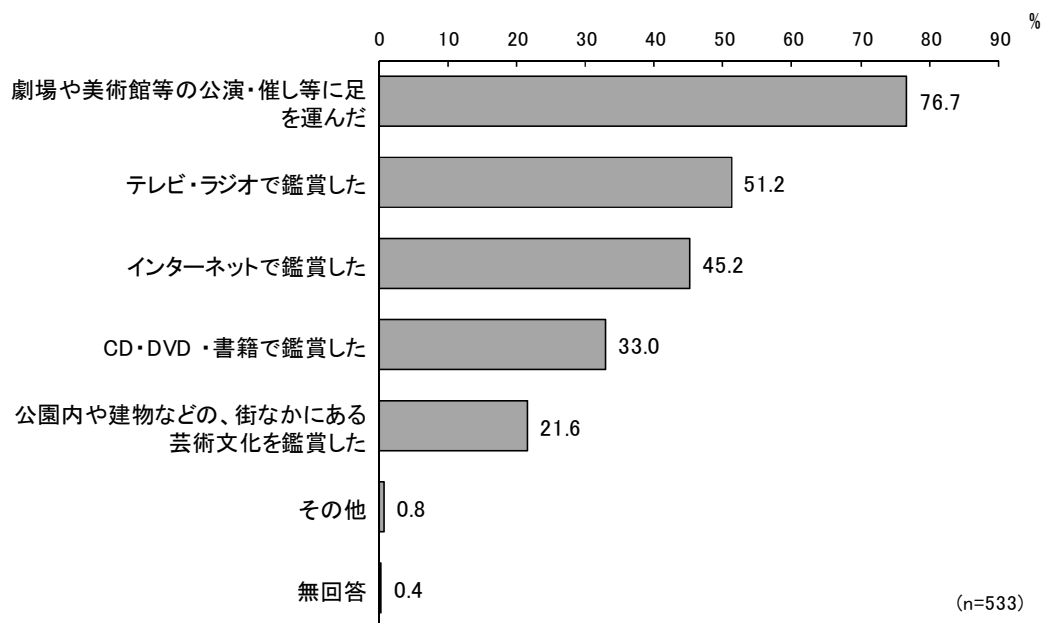
芸術文化活動を行った方法 同居世帯の構成別



(1-2) 芸術文化を鑑賞した方法

◇「劇場や美術館等の公演・催し等に足を運んだ」が7割半ばを超え

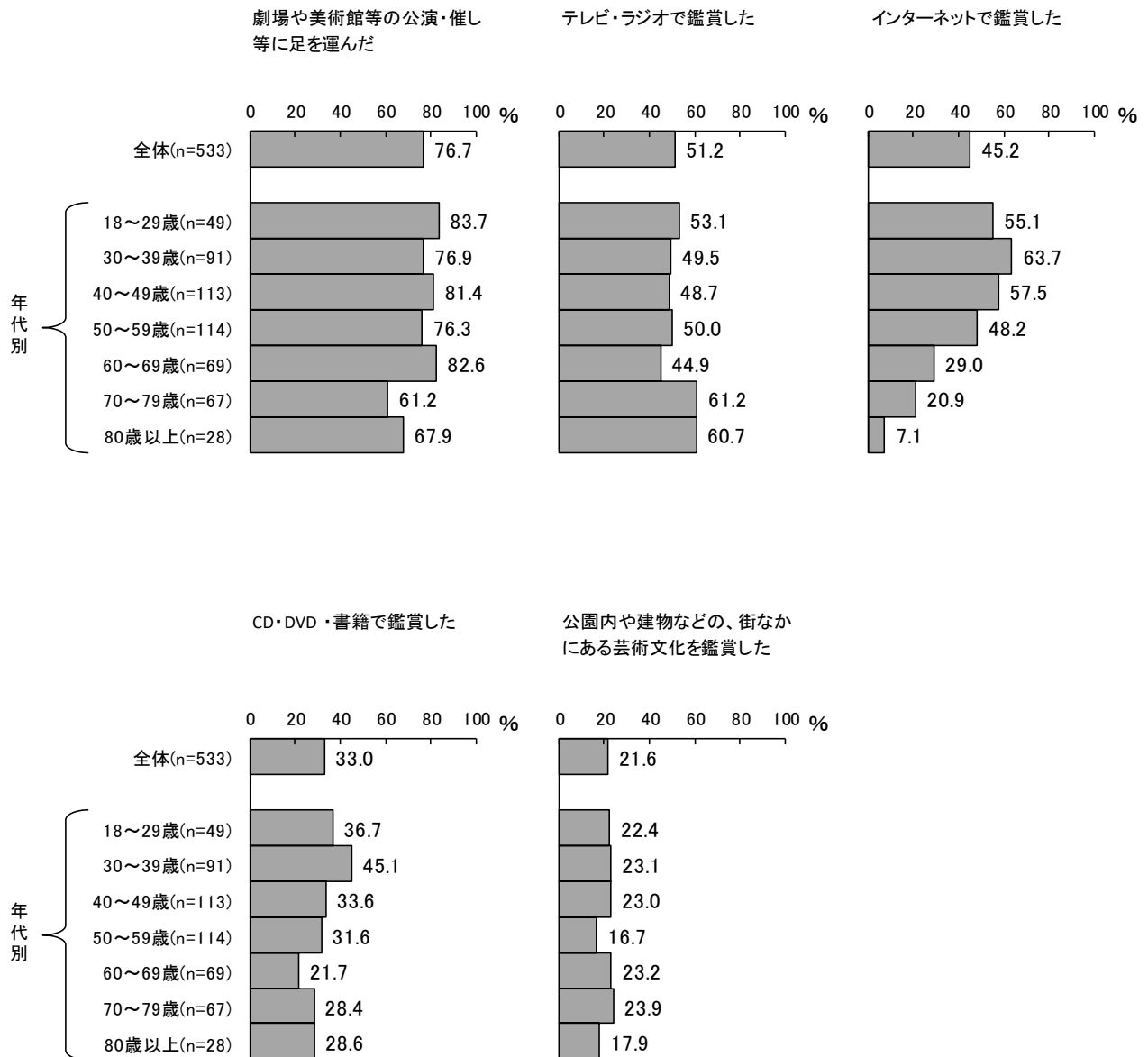
問 13-2 (問 13 で「2 芸術文化の鑑賞を行った」とお答えの方にお伺いします。)
あなたは、この1年間にどのような方法で芸術文化の鑑賞を行いましたか。
(〇はいくつでも)



芸術文化を鑑賞した方法について聞いたところ、「劇場や美術館等の公演・催し等に足を運んだ」(76.7%)が7割半ばを超え最も高く、次いで「テレビ・ラジオで鑑賞した」(51.2%)、「インターネットで鑑賞した」(45.2%)が続いている。

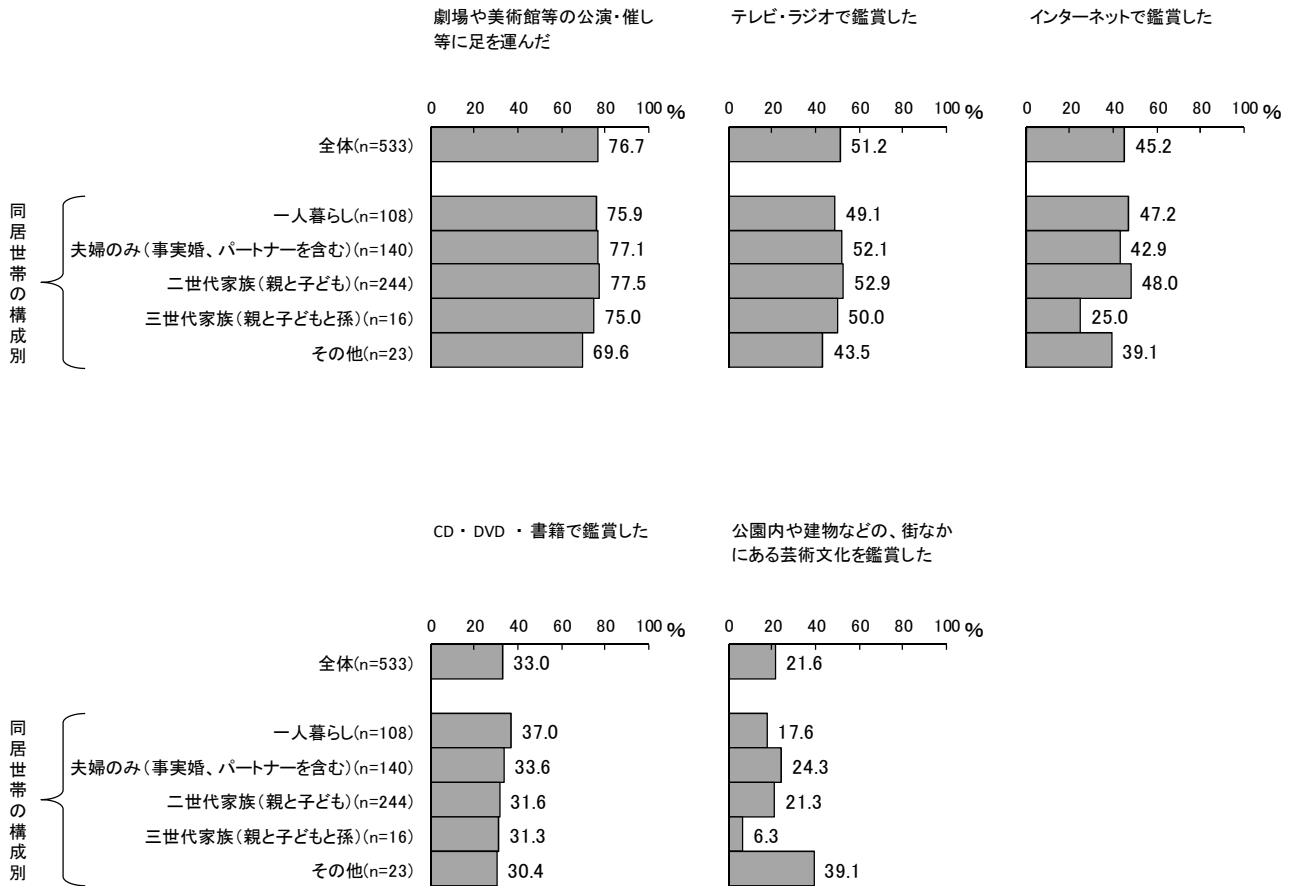
年代別でみると、「劇場や美術館等の公演・催し等に足を運んだ」では、18～29歳（83.7%）、60～69歳（82.6%）、40～49歳（81.4%）が8割台で高くなっている。「テレビ・ラジオで鑑賞した」では、70～79歳（61.2%）が6割強で最も高くなっている。「インターネットで鑑賞した」は、30～39歳（63.7%）が6割半ば近くで最も高くなっており、おおむね年齢層が高いほど割合が低くなっている。

芸術文化を鑑賞した方法 年代別



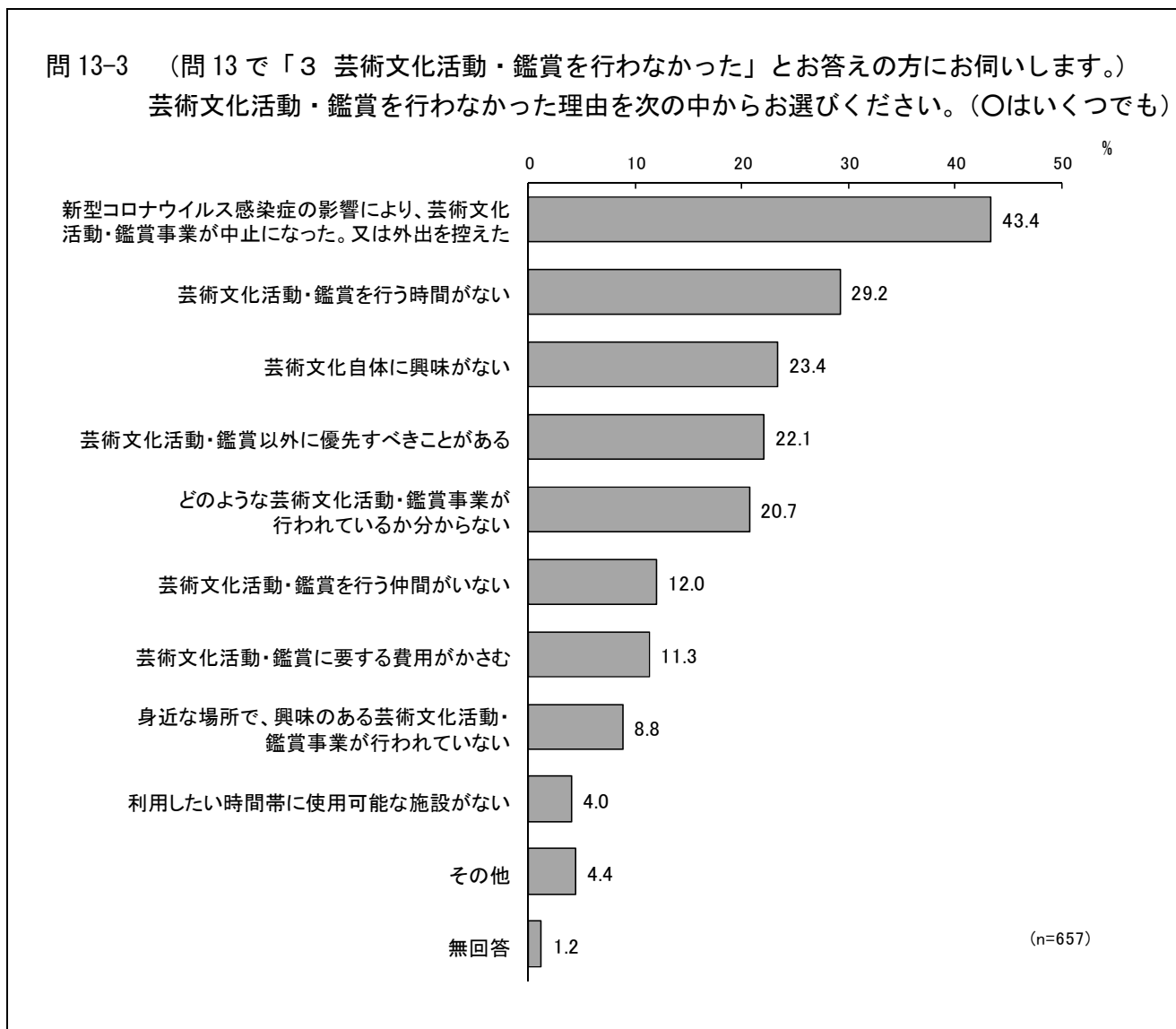
同居世帯の構成別でみると、「インターネットで鑑賞した」では二世世代家族（親と子ども）（48.0%）が5割近く、「CD・DVD・書籍で鑑賞した」は一人暮らし（37.0%）が3割半ばを超え、最も高くなっている。

芸術文化を鑑賞した方法 同居世帯の構成別



(1-3) 芸術文化活動、芸術文化鑑賞を行わなかった理由

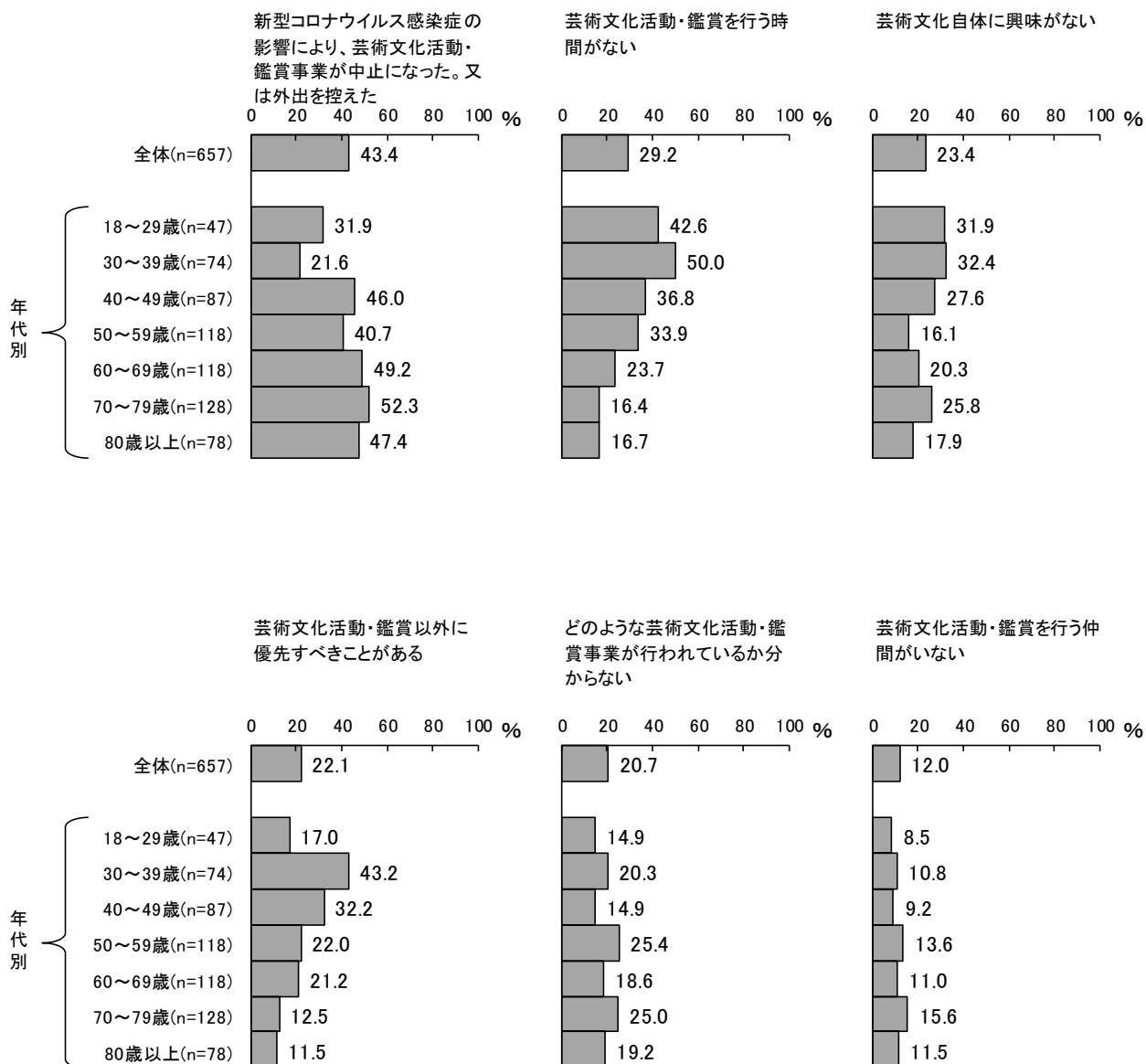
◇「新型コロナウイルス感染症の影響により、芸術文化活動・鑑賞事業が中止になった。又は外出を控えた」が4割半ば近く



芸術文化活動、芸術文化鑑賞を行わなかった理由について聞いたところ、「新型コロナウイルス感染症の影響により、芸術文化活動・鑑賞事業が中止になった。又は外出を控えた」(43.4%)が4割半ば近くで最も高く、次いで「芸術文化活動・鑑賞を行う時間がない」(29.2%)、「芸術文化自体に興味がない」(23.4%)と続いている。

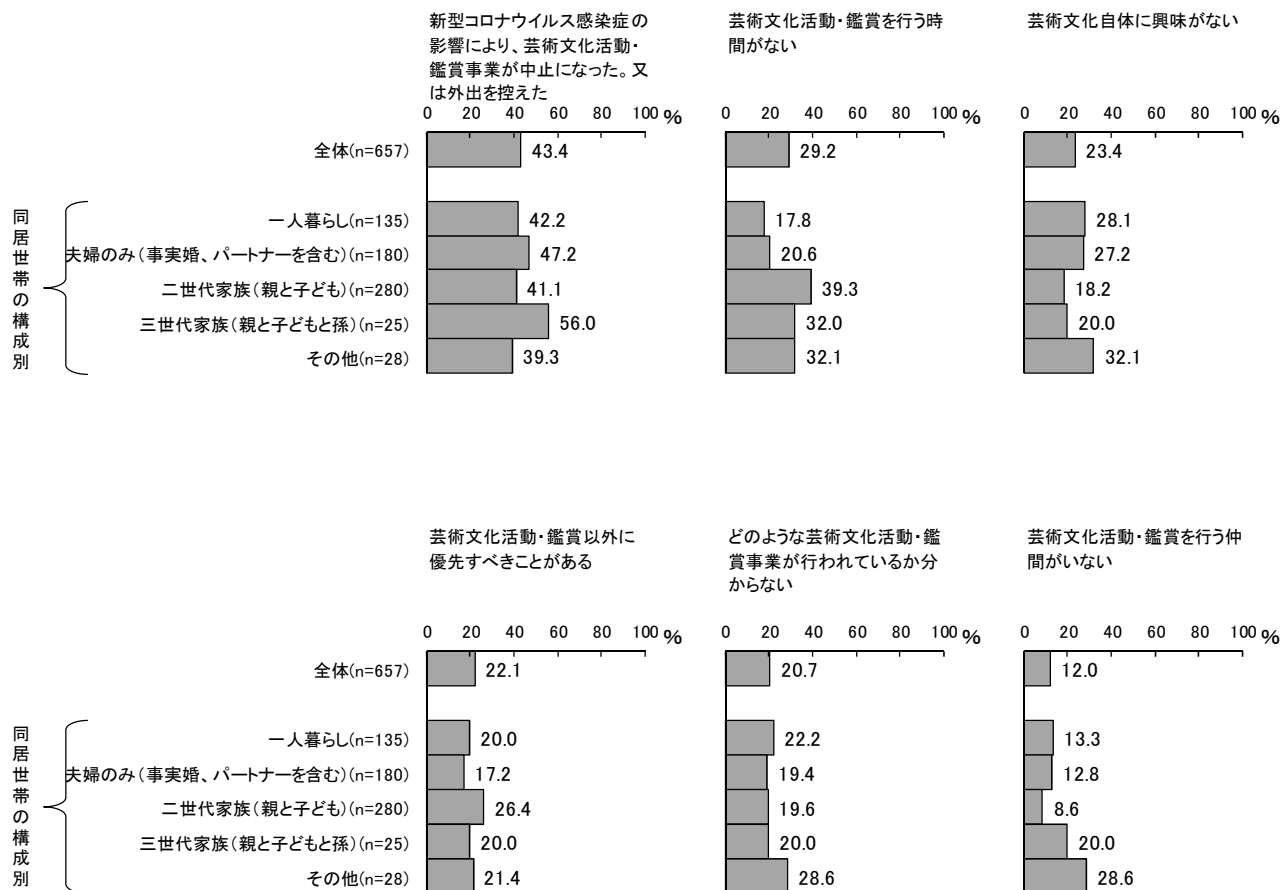
上位6項目を年代別で見ると、「新型コロナウイルス感染症の影響により、芸術文化活動・鑑賞事業が中止になった。又は外出を控えた」は70～79歳（52.3%）が5割強で最も高くなっている。「芸術文化活動・鑑賞を行う時間がない」と「芸術文化活動・鑑賞以外に優先すべきことがある」は18～29歳を除くと、おおむね年齢層が高いほど割合が低くなっている。

芸術文化活動、芸術文化鑑賞を行わなかった理由（上位6項目） 年代別



上位6項目を同居世帯の構成別でみると、「芸術文化活動・鑑賞を行う時間がない」は二世世代家族(親と子ども)(39.3%)が4割弱で最も高くなった。「芸術文化自体に興味がない」は一人暮らし(28.1%)と夫婦のみ(事実婚、パートナーを含む)(27.2%)が2割台で高くなっている。

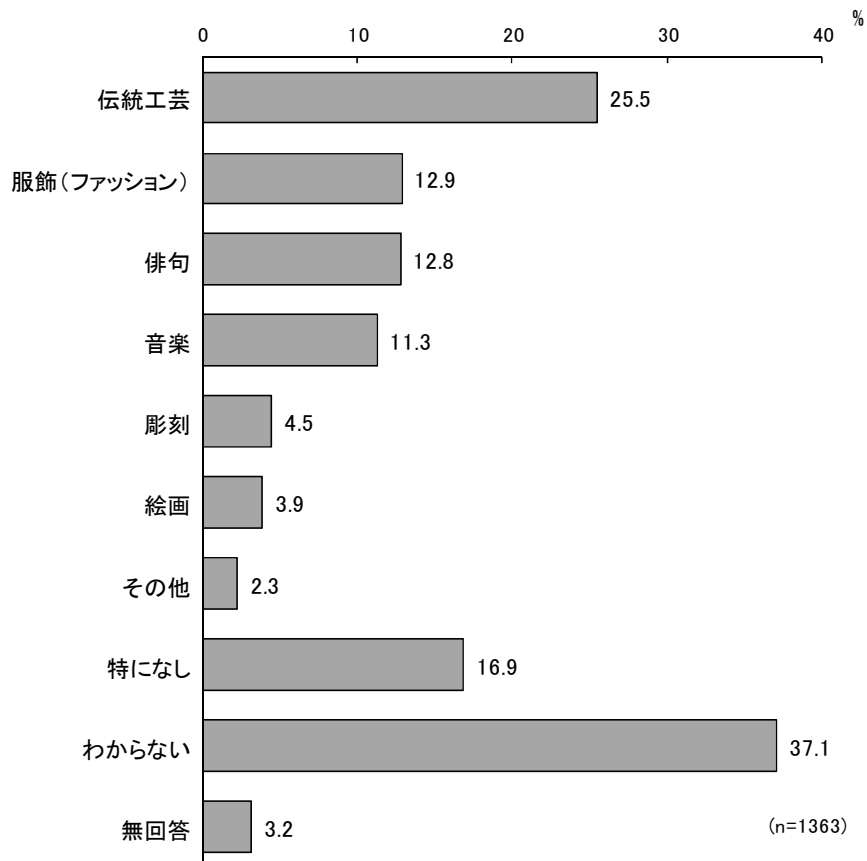
芸術文化活動、芸術文化鑑賞を行わなかった理由(上位6項目) 同居世帯の構成別



(2) 区の芸術文化で特色のある分野

◇「わからない」が3割半ばを超え

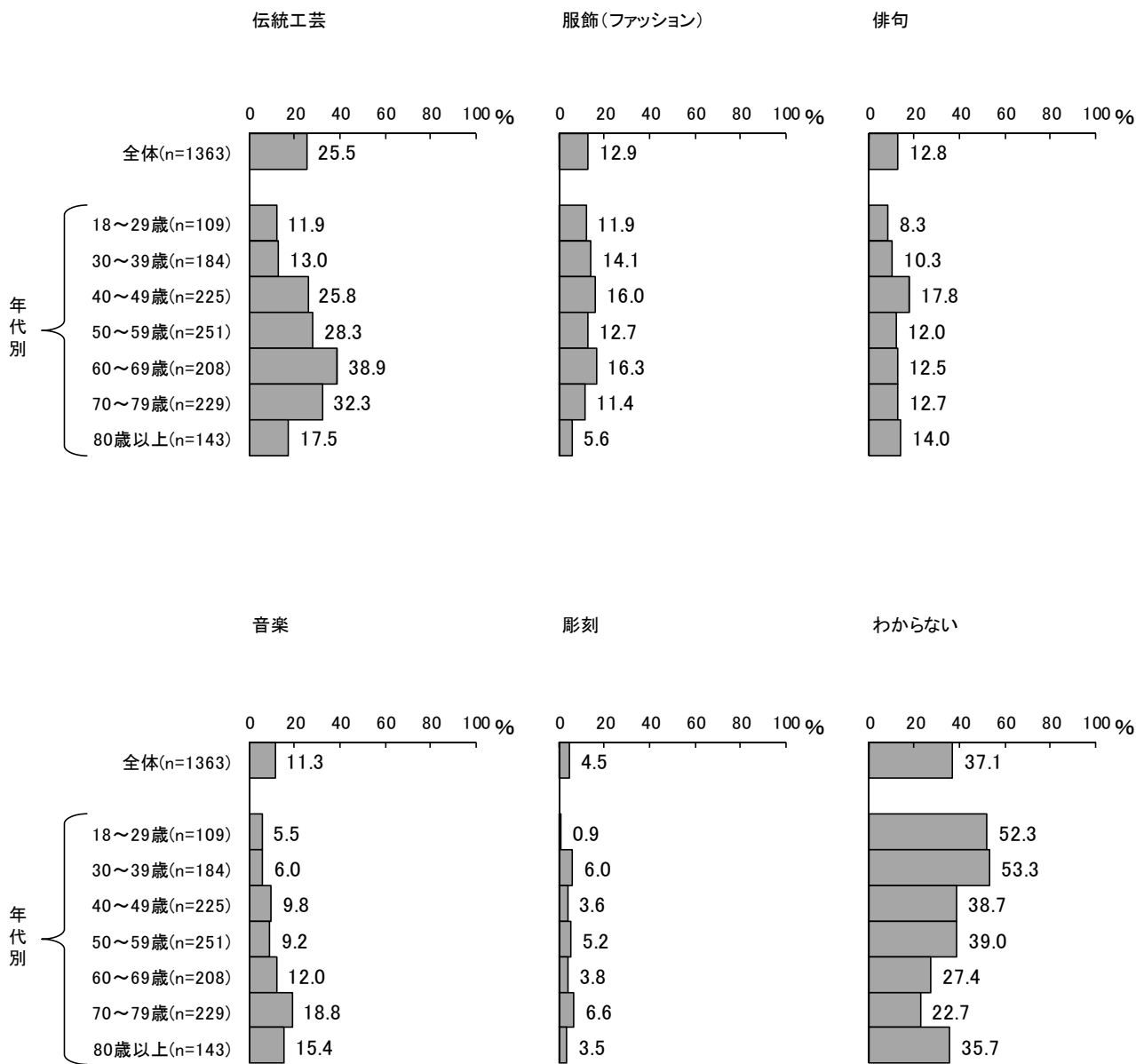
問14 荒川区における芸術文化について、特色があるとお考えの分野は次のどれでしょうか。
(〇は3つまで)



区の芸術文化で特色のある分野について聞いたところ、「わからない」(37.1%)が3割半ばを超えて最も高くなっている。特色ある分野の中では、「伝統工芸」(25.5%)が2割半ばで最も高く、次いで「服飾(ファッション)」(12.9%)、「俳句」(12.8%)が続いている。

上位6項目を年代別で見ると、「伝統工芸」は60～69歳（38.9%）が4割近くで、「俳句」では、40～49歳（17.8%）が1割半ばを超え、「音楽」では、70～79歳（18.8%）が2割近くと、それぞれ高くなっている。

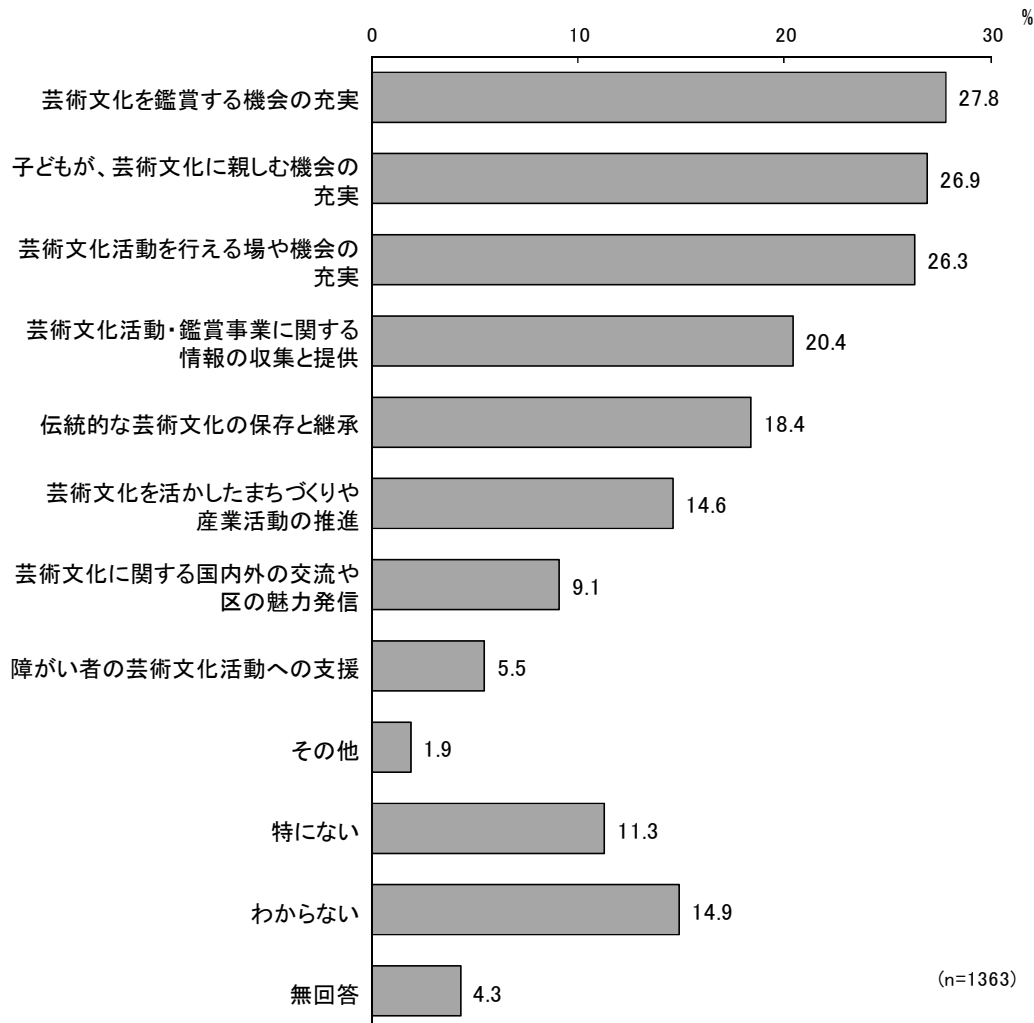
区の芸術文化で特色のある分野（上位6項目） 年代別



(3) 区の芸術文化の振興のため充実させるべきもの

◇「芸術文化を鑑賞する機会の充実」は2割半ばを超え

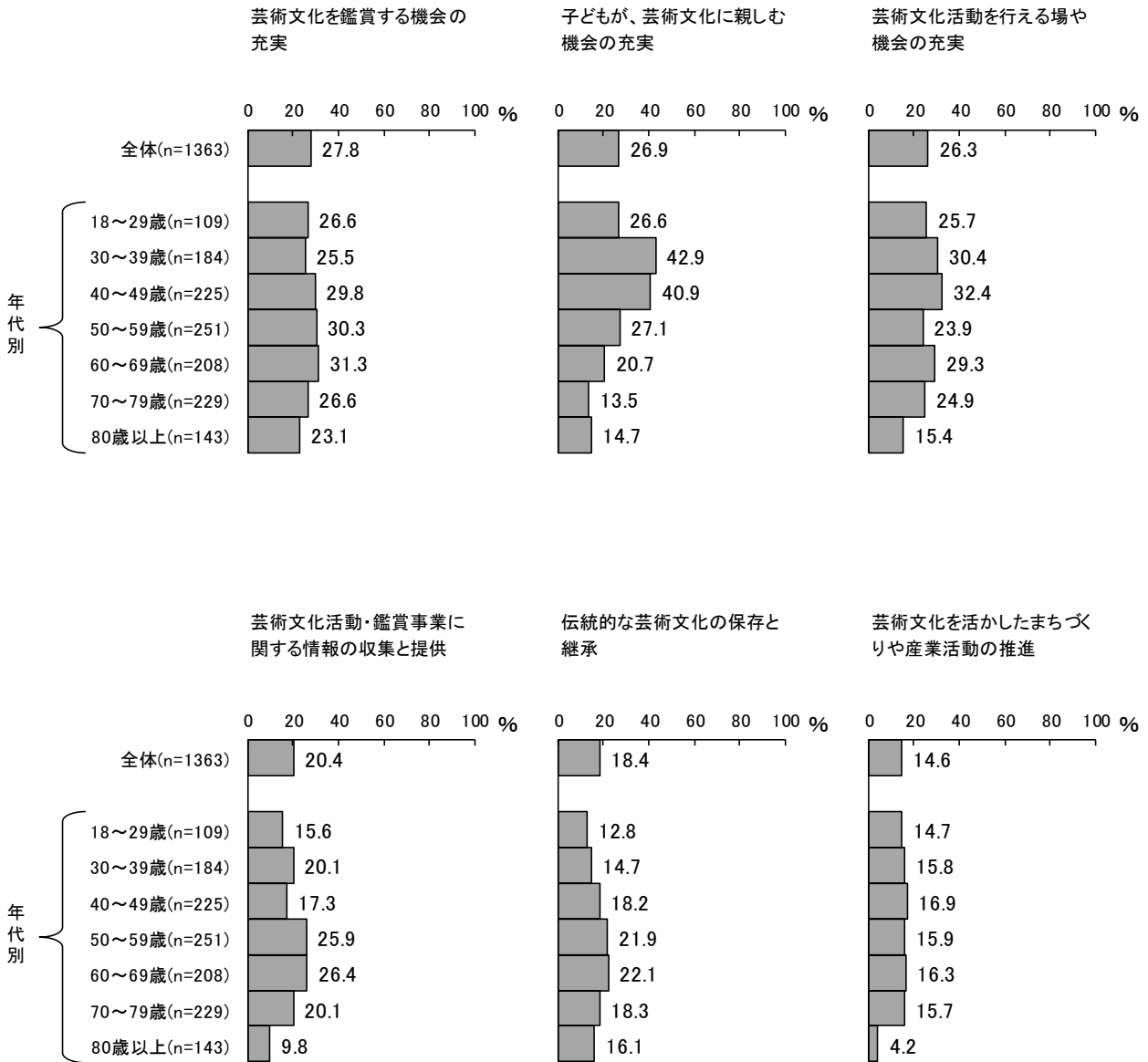
問 15 荒川区の芸術文化の振興を図る上で必要な取組のうち、区が更に充実させていくべきものは何だとお考えですか。重要だと考えられるものを次の中からお選びください。(○は3つまで)



区の芸術文化の振興のため充実させるべきものについて聞いたところ、「芸術文化を鑑賞する機会の充実」(27.8%)が2割半ばを超え最も高く、次いで「子どもが、芸術文化に親しむ機会の充実」(26.9%)、「芸術文化活動を行える場や機会の充実」(26.3%)と続いている。

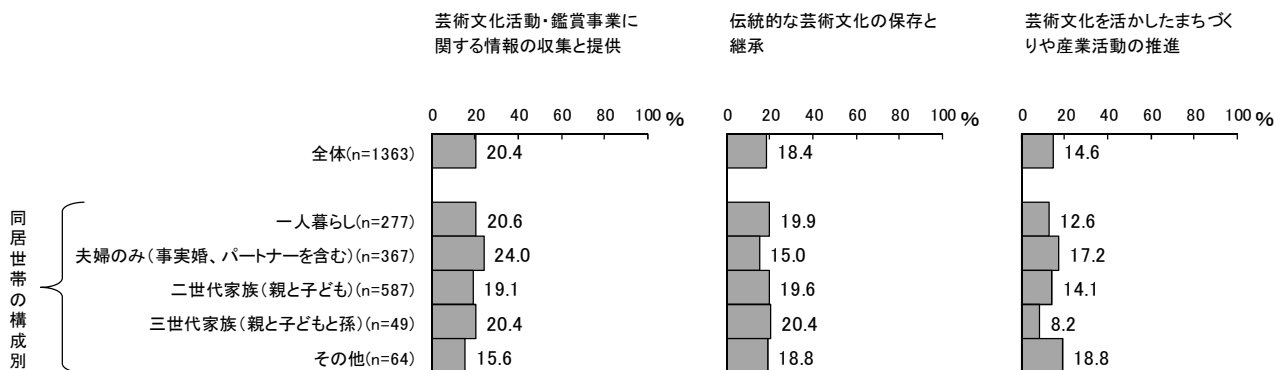
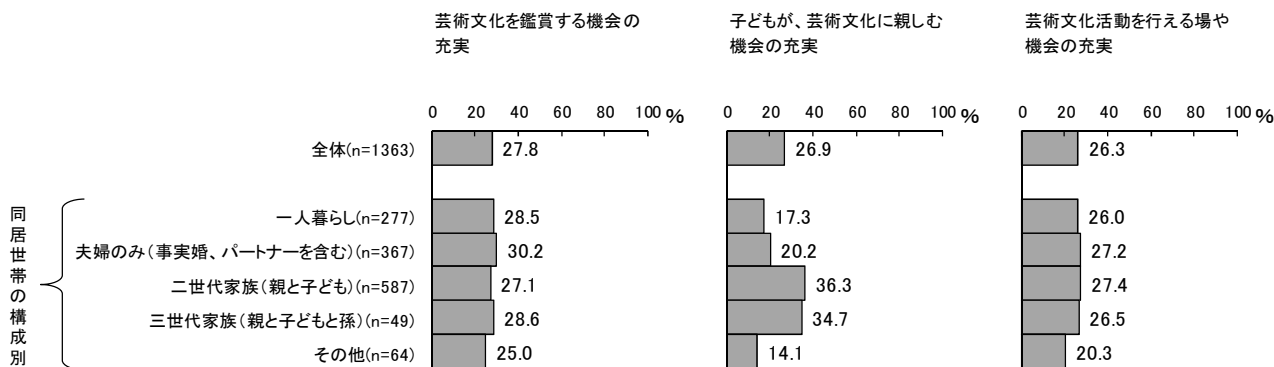
上位6項目を年代別で見ると、「芸術文化を鑑賞する機会の充実」では、50～69歳が3割台と高く、「子どもが、芸術文化に親しむ機会の充実」では、30～49歳が4割台と高くなっている。

区の芸術文化の振興のため充実させるべきもの（上位6項目） 年代別



上位6項目を同居世帯の構成別でみると、「芸術文化を鑑賞する機会の充実」では、夫婦のみ（事実婚、パートナーを含む）（30.2%）が3割と高くなっており、「子どもが、芸術文化に親しむ機会の充実」では、二世世代家族（親と子ども）（36.3%）と三世世代家族（親と子どもと孫）（34.7%）が3割台と高くなっている。

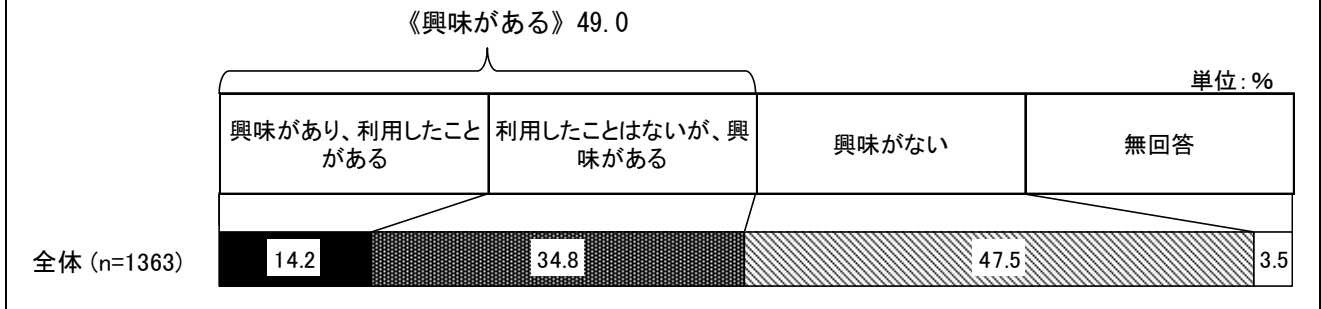
区の芸術文化の振興のため充実させるべきもの（上位6項目） 同居世帯の構成別



(4) オンラインによる芸術文化の鑑賞や講座の受講等への興味

◇ 《興味がある》は5割弱

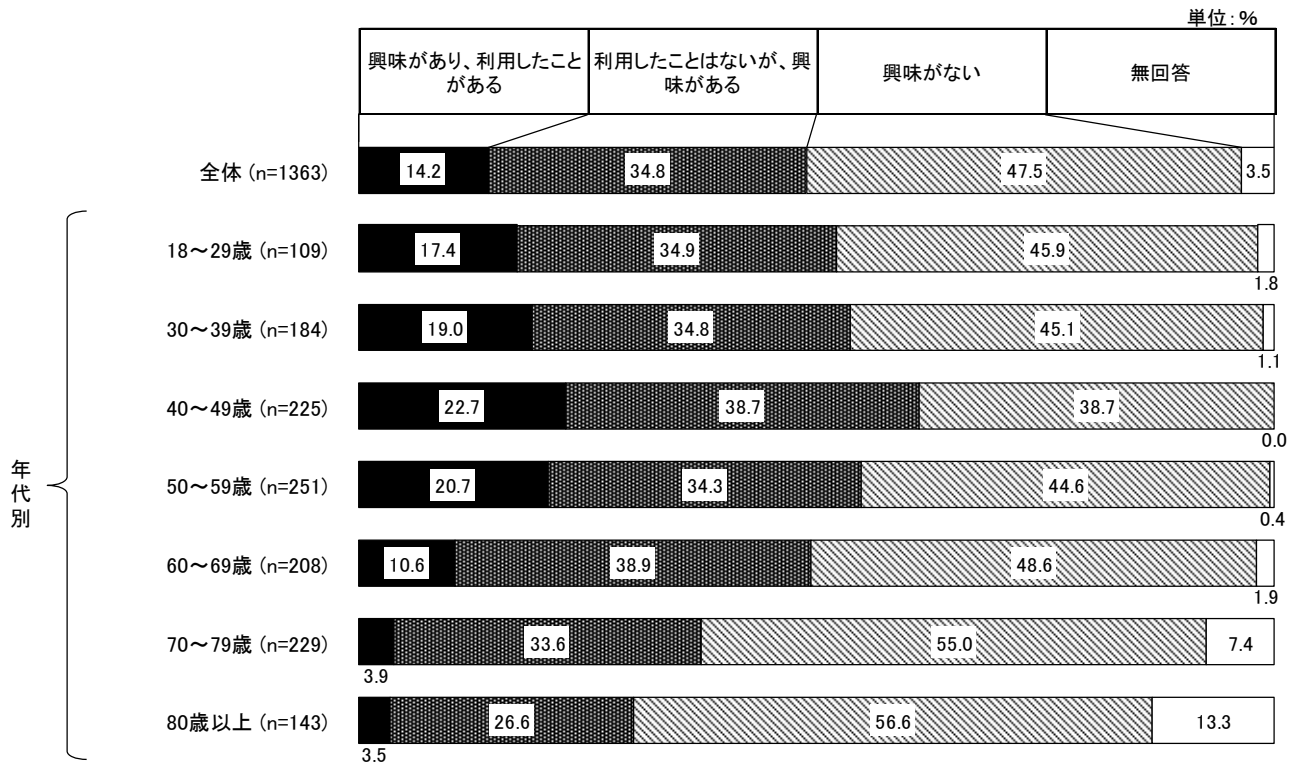
問 16 新型コロナウイルス感染症の影響により、公演等の中止や延期など、芸術文化活動の多くが制約を受けました。一方で、ICT 技術の活用により、新しい芸術文化の楽しみ方も生まれてきています。あなたは、インターネットのオンライン配信による芸術文化の鑑賞やオンライン会議システム等を用いた講座の受講等に対して、興味がありますか。(○は1つだけ)



オンラインによる芸術文化の鑑賞や講座の受講等への興味について聞いたところ、「興味があり、利用したことがある」(14.2%)と「利用したことはないが、興味がある」(34.8%)を合わせた《興味がある》(49.0%)で5割弱となっている。一方、「興味がない」(47.5%)は4割半ばを超えている。

年代別でみると、「興味があり、利用したことがある」では40～59歳で2割台、「興味がない」では70歳以上で5割台と、それぞれ高くなっている。

オンラインによる芸術文化の鑑賞や講座の受講等への興味 年代別



芸術文化活動・鑑賞を行わなかった理由別でみると、「興味がない」では芸術文化自体に興味がない(90.9%)が9割で最も高く、次いで芸術文化活動・鑑賞を行う仲間がいない(68.4%)、身近な場所で、興味のある芸術文化活動・鑑賞事業が行われていない(65.5%)と続いている。一方、「興味があり、利用したことがある」はいずれの理由も1割未満となっている。

オンラインによる芸術文化の鑑賞や講座の受講等への興味 芸術文化活動・鑑賞を行わなかった理由別

